

国際シンポジウム

Desarrollo y Cambio Social de las Sociedades Prehispánicas en la Costa Sur del Perú

(ペルー南海岸における社会の実態と変容)

- 日 時 2014年2月16日(日) 10:00 ~ 17:30
- 会 場 国立民族学博物館 第4セミナー室
一般公開(参加無料/申込不要/定員:80名[先着順])
- 使用言語 スペイン語(通訳なし)
- 主 催 国立民族学博物館 科学研究費補助金基盤研究(S)「権力の生成と変容から見たアンデス文明史の再構築」(研究代表者:関雄二)
- 共 催 山形大学人文学部、科学研究費補助金新学術領域研究「環太平洋の環境文明史」(研究代表者:茨城大学教授・青山和夫)、頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム「ナスカ地上絵の学際的研究における次世代研究者養成とネットワーク構築」(研究代表者:山形大学教授・坂井正人)
- 協 力 古代アメリカ学会

最近、ペルー南海岸における考古学調査が活発に行われるようになり、ペルー北部に成立した諸社会と比べると、かなり様相の異なった社会が、南海岸に成立したことが分かってきました。本シンポジウムの目的は、ナスカおよびパルパ地区を中心に現地調査を実施している研究者が集まり、この地域に成立した諸社会(パラカス、ナスカ、イカなど)の実態とその動態に関する知見を深めるとともに、共有することにあります。ペルー南海岸を中心とした地域における現地調査で得られた一次データをもとにして、周辺地域との関係を視野にいれて、ペルー南海岸の諸社会の実態およびその変容について、権力と地域間交流に注目することによって議論したいと考えています。

プログラム

10:00-10:15

Introducción

Yuji Seki (National Museum of Ethnology)
Masato Sakai (Yamagata University)

10:15-11:15

“Las transformaciones del poder y la sociedad en Nasca: una perspectiva desde la cuenca del sur.”
Christina A. Conlee (Texas State University)

11:15-12:15

“La cultura Paracas en los valles de Palpa, costa sur del Perú.”
Markus Reindel (German Archaeological Institute (KAAG))

12:15-13:30

Almuerzo

13:30-14:30

“Peregrinación y poder en Nasca Temprano.”
Kevin Vaughn (Purdue University)

14:30-15:30

“Paracas en la sierra: una perspectiva desde Campanayuc Rumi.”
Yuichi Matsumoto (Yamagata University)

15:30-15:45

Coffee Break

15:45-16:45

“Paisaje y sociedades en los valles del Río Grande de Nasca.”
Masato Sakai

16:45-17:30

Debate final y clausura

問い合わせ先

国立民族学博物館 関研究室

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1 TEL: 06-6878-8252

E-mail sekiken@idc.minpaku.ac.jp